

0.2ミリケイ・ベタ  
252ミリ  
178ミリ2.5ミリケイ・70ミリ  
20ミリ  
80ミリOsaka-03.tif  
59ミリに縮小  
×20ミリ  
Y22ミリ32a  
新ゴB

大阪府

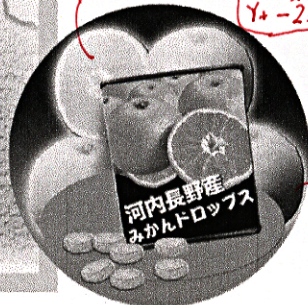
70ミリ

## 河内長野市 diary

80ミリ 50a新ゴB

0.9ミリケイ・ベタ ↔ 97ミリ

流用

×137ミリ  
Y46ミリ1ミリケイ  
20ミリ  
25.5ミリ  
53ミリ0.2ミリケイ  
白ヌ  
70ミリ  
×8・白ヌ11a  
新ゴR  
18H10a  
ロダN47ミリ  
63ミリ  
×127ミリ  
Y97ミリmikan-01.tif  
22ミリに縮小  
×+2ミリ  
Y+2ミリ

## 大阪南医療センター DATA

・病床数：384床  
・手術室：10室  
・年間麻酔科管理：約2000件

写真1 酒蔵の軒先に吊された杉玉  
西條合資会社旧店舗主屋（登録有形文化財）



大阪南医療センター（以下、当院）は、大阪府の南端、河内長野市にあります。最寄り駅の南海電鉄千代田駅から徒歩で約15分のところに位置する、緑を基調とした外観の建物が当院です。大都市・大阪のイメージとは一線を画し、周囲は山々に囲まれた自然豊かな環境にあり、訪れる人々を癒してくれます。その土地柄ゆえか、患者も医療従事者も穏やかで優しい方が多いように感じます。

当院は、地域に密着しつつ、高度な医療を提供する基幹病院としての役割を担っています。リウマチ膠原病内科の活発な診療により、リウマチ患者の受診が多く、それに伴って整形外科症例が非常に豊富です。手術の内訳も、予定・緊急を問わず整形外科が全体の半数を占めています。中でも骨折症例に対しては、麻酔科が神経ブロックを積極的に実施しています。

本連載の執筆依頼を機に、改めて河内長野市について調べてみました。気づけばこの地に住んで8年が経ちますが、まだまだ知らない魅力が数多くあることに驚かされました。

例えば、河内長野市は“つまようじ生産日本一”として知られています。つまようじは、奈良時代に仏教とともにインドから中国を経て日本に伝来し、大正時代に当地で初めて製造機が導入されたことで機械化が進みました。大阪名物たこ焼きの普及にも一役買ってきたのかもしれません。つまよう

じから紐解く日本の歴史・文化の一端に触れた気がしました。

また、河内長野市出身の著名人といえば、

大阪府知事の吉村 洋文 氏が挙げられます。自然に囲まれ、ゆったりとした時間が流れるこの街が、府政を担う若きリーダーを育んだと思うと、新たな魅力が発見したようで誇らしい気持ちになります。

地元の名産としては地酒「天野酒」が有名です（写真1）。河内長野駅から高野街道を行くと、風情ある古い町並みの中に佇む酒蔵が見えてきます。軒先に吊された杉玉は、新酒ができた合図であり、縁起物でもあります。中でも「あま酒サイダー」は人気で、ノンアルコールながら日本酒の香りと味わいが楽しめる逸品です。

私自身、この河内長野市で暮らす中で登山という趣味に出会いました。医療現場は肉体的にも精神的にもハードな場面が多く、オンオフのバランスを保つことがとても大切です。自然の中で過ごす登山の時間は、日常の喧騒から離れ、心身をリセットできる貴重なひとときとなっています。運動習慣のなかった私にとって、足腰の健康維持にもつながる一石二鳥の趣味です。

市内の岩湧山はもちろん、金剛葛城山系の稜線を縦走する長距離自然歩道「ダイヤモンドトレール」も多くの登山客に親しまれています。当院でも登山を楽しむ高齢の患者が多く、外来では登山の話題で自然と会話が弾みます。

河内長野市の魅力は、まだまだ語り尽くせないほどたくさんあります。今回の執筆を通じて、新しい視点からこの地域を見つめ直すことができ、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

大阪南医療センター 麻酔科 笠井 智美



写真2 岩湧山の秋の「花スキ」